

れっしゃけい

においては線路有効長、旅客列車においては乗降場の長さあるいは常態の客車編成等によって決定される。

4 直通運転 ある線区から他の線区にわたって列車を直通して運転することをいう。

5 計画運休 定期列車は毎日運転するのが原則であるが輸送上のつごうで、ある期間計画的に運転休止することをいう。

6 通過 列車が停車場に停車しないで通過することをいう。

7 待避 停車場である列車が他の列車に追越されるため待合わすことをいう。

8 続行 ある列車を基準にして、その列車につづいて同方向に運転する列車をいう。

9 行違 単線区間では停車場、複線区間では停車場または停車場間でずれ違うことをいう。

10 追越 ある列車が他の列車を停車場または停車場間で追い越すことをいう。停車場間で追い越す場合は3線区間または複々線区間でおこる。

11 対向 単線区間において上下列車が行違いの関係にある場合、一つの列車に対して他の列車を対向列車という。

12 先行 同一方向に2以上の列車がつづいて運転する場合、先に運転する列車を後につづいて運転する列車に対していう。

13 後続 同一方向に2以上の列車がつづいて運転する場合、先に運転する列車に対して後につづいて運転する列車のことをいう。(萩原貞次)

れっしゃけいとう 列車系統 列車を設定する場合は旅客貨

物の流動状態に応じて列車の発着区間・運転経路を定める。したがって列車は線区を通して運転するもの、一線区の間中に発着するもの、本線と支線をととして運転するもの等種々の系統がある。これを列車系統といい、これを図表にしたものを列車系統表という。この系統表は旅客・貨物別に分つのが普通である(下表と次ページ表)。(萩原貞次)

れっしゃけいほうき 列車警報器 (英) train alarm 列車運転中車掌あるいは乗客が至急列車を停止させたいような事態が生じたとき、これを機関車乗務員に報知する装置をいう。(三和達忠)

れっしゃじかく 列車時隔 ある1つの列車に対し、それに続行する列車または対向する列車の時間の間隔をいう。列車を設定するとき、輸送量に応じて列車回数を定め、それらの列車が有効時間帯において、できるだけ平均することが望ましいのであるが、列車には各種の使命があるので、1日における列車の配列は必ずしも平均されていない。大都市付近の通勤列車のように、短い有効時間帯にたくさんの回数の列車を運転させるためには、勢い続行する列車の隔離時分すなわち続行時隔をできるだけ小さくし、等間隔運転の方法をもって線路容量を有効に使い、輸送量に合わせるのである。東京付近の東海道線列車のラッシュ時間帯のごときは好個の例である。列車回数が極めて少ない場合は問題がないが、だんだん多くなってくると、勢い列車と列車との時隔が接近して、その隔離時分が少なくなってくる。しかしこの隔離時分もおのずから限度があって、列車運転の安全を確保できる限度に止まる。これを最小運転時隔という。→列車回数。(内田富彦)

列車系統表(旅客) 東海道線(下り)

駅名 列車番号	東京	浜松	名古屋	米原	京都	大阪	編成	
							現車	換算
特急 1	ツ甲 B E F 58=55	同 左	ツ甲 B C 62=55	同 左	同 左	同 左	10	両 45.0
急 13	ツ丙 A E F 58=73	同 左	ツ丙 A C 59=65	ツ乙 C C 59=60	同 左	神戸	12	54.0
" 201	ツ丙 A E F 57=73	ツ丙 A E F 58=73	湊町				8	36.0
準急 405	特急貨 丙 A E F 58=73		ツ乙 C C 62=70	ツ乙 C C 62=62	ツ乙 A C 62=62		10	40.5
荷 41	特急貨 丙 A E F 58=73	同 左	特急貨 丙 A C 59=65	特急貨 丙 A C 59=60	特急貨 丙 A C 59=65	熊本	7	31.5
急 2203	ツ丙 A E F 58=73	同 左	鳥羽				8	36.0
111	テ乙 B E F 57=60	同 左	テ乙 C C 62=70	同 左	同 左	門司	12 "より	48.5
335	テ乙 B E F 58=60						10	40.5
512			青森	テ乙 B C 59=55	同 左		10	40.0
							12	49.0
列車回数	急行 ※急行 小荷物 普通	17 1 1 15	17 1 1 14	16 1 19	16 1 17	16 1 15		
計		34	33	36	34	32		

- この表は一例を示したものであるから実際とは異なる。
- 駅間は列車回数、けん引定数等の異なるごとに区分する。※印は不定期列車を示す。
- 駅間の横線は列車の運転区間を表わす。
- 駅名欄の□印は機関車の付替を示す。
- ツ甲 B E F 58=55……………これは速度種別が通客甲 B 使用機関車が E F 58 形 けん引定数が 55 であることを表わす。